

【研究課題】 子宮内膜癌における術前病期分類のための MRI の有用性の検討

実施責任者： 放射線診断・IVR 学講座 医員 國近 瑛樹

実施分担者： 放射線診断・IVR 学講座 教授 田中 利洋  
放射線診断・IVR 学講座 助教 太地 良佑  
放射線診断・IVR 学講座 大学院生 大島 圭裕

【研究目的・意義】近年、子宮内膜癌の術前検査では、画像診断と病理組織診断を併せて適切な治療介入の選択が行われています。画像診断においては、組織分解能や組織コントラストの良さから、MRI（特に造影 MRI）による評価が普及し、腫瘍の存在部位や筋層浸潤の程度、リンパ節転移の有無などの評価を行っています。術前診断による深達度評価は治療選択において重要な役割を担っていますが、しばしば評価に難渋します。今回、当院手術例の術前 MRI 画像を後方視的に検討し、術後病理標本と比較することで、より精度の高い術前画像診断に寄与する評価項目を模索します。適切な治療選択の精度向上により、患者の負担軽減を実現できる可能性があります。

【研究対象】研究対象となる患者様は、2018年1月1日～2024年10月31日の間に当院産婦人科で早期子宮内膜癌に対して手術加療が施行された約300人の方です。

【研究方法】上記期間に当院産婦人科で早期子宮内膜癌に対して手術加療が施行された症例を抽出します。症例の術前 MRI 画像を後方視的に検討し、病理組織学的所見と MRI 画像との関係性を評価します。

【研究期間】この研究は、奈良県立医科大学の学長による実施承認日から2026年3月31日まで行う予定です。

【当該研究に参加することにより期待される利益および起こりうる危険ならびに必然的に伴う心身に対する不快な状態について】対象患者様が受ける利益・不利益はありません。

【個人情報の取り扱い】収集した情報は名前、住所、年齢など患者様を直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会などで発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

【その他】本研究は、本学の医の倫理審査委員会の承認および学長の許可を得て実施します。

本研究は、過去に施行された検査を後方視的に検討するのみであり、この研究のために患者様に新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。また、研究の対象となる患者様に謝礼はありません。この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

上記の研究の対象に該当する患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合には、奈良県立医科大学附属病院 放射線・核医学科までご連絡ください。

**【問い合わせ先】** 國近 瑛樹（奈良県立医科大学附属病院 放射線・核医学科）  
連絡先 0744-22-3051（代表）、3467（内線）

第 1.0 版 2023 年 01 月 4 日

第 2.0 版 2024 年 11 月 5 日